

登録コード	MA780602	開講年度	2026				
授業科目名	作業療法学特別研究					担当教員	務臺 均
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Occupational Therapy					副担当	
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限・不定期		対象専攻 / 学年	作業療法領域 / 2 年次
講義室			授業形態	演習	授業科目区分	必修科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)						
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。				独創的なリサーチエッションから, 研究計画を作成・遂行し, 成果を論文にまとめることができる。		
(2)授業の概要	共通科目, 生活支援作業療法学特論・演習で学んだ方法を活かして身障・老年期領域の臨床または基礎研究について, 研究計画の立案, 研究の実施, 論文作成, プレゼンテーションを行う。						
(3)達成目標(一般学習目標 G I O)	1. 研究倫理を踏まえて研究計画を策定する。 2. 研究計画に沿ってデータ収集, 解析, 結果の考察をする。 2. 修士論文を作成する。 3. 研究成果のプレゼンテーションをする。						
(4)達成目標(個別行動目標 S B O s)	1. リサーチエスチョンを策定ができる。 2. 先行研究の網羅的なレビューを実施できる。 3. 対象者への倫理的配慮ができる。 4. 研究計画を立案できる。 5. 倫理審査の申請手続きを習得し申請できる。 6. 研究計画に基づき研究活動を遂行できる。 7. 研究論文を作成できる。 8. プレゼンテーションの方法を修得できる。						
(5)授業計画	授業は以下の授業内容に沿って進めます。 日時は受講学生と検討のうえ決定する。 それぞれの授業内容にかかる時間は進捗状況によって変わります。 ・リサーチエスチョンの選定 ・研究内容のレビュー(研究背景, 先行研究の状況) ・対象者の選定と倫理的配慮 ・倫理審査申請書の作成 ・研究計画の作成 ・研究の準備, 関係各所との連携について ・研究の実施, データ収集 ・データ分析・統計解析 ・結果の考察 ・研究成果のプレゼンテーションの方法 ・論文の作成						
(6)授業の進め方	毎回の授業のテーマについて, 学生の事前準備にもとづいて, 授業内でプレゼンテーションを行い, 教員と学生間でディスカッションを行うことで内容の理解を深める。 また, 授業以外でも学生の研究テーマについては, 必要に応じて個別指導も行う。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	【事前学習】 毎回の授業テーマごとに, 学生自身の研究テーマに沿って, プレゼンテーション資料を作成する。詳細は毎回の授業の時に指示します。 【事後学習】 授業で指導した内容を理解し, 次回の授業までに実施し, 研究を進める。						
(8)成績評価の方法	毎回の授業のプレゼンテーションの内容20%, 審査会でのプレゼンテーションの内容30%, 提出された修士論文の内容50%で評価します。						
(9)成績評価の基準	毎回の授業については, テーマに沿ってプレゼンテーション内容がまとめられている。(70%) 質問に対し適切に回答できている。(30%) 審査会でのプレゼンテーションおよび修士論文については, 下記の評価項目の合計点にもとづき評価します。 研究の目的・方法・結果および考察について十分に理解し, 明確に説明できている。(50%) 研究内容について提起されている質問に対して, 理論的に説明できている。(30%) 研究の将来展望について記述できている。(10%) 当該研究分野に関する最先端の知識を有している。(10%) 判定基準は, 上記の結果を総合的に判断し, 90-100点: 秀, 80-89点: 優, 70-79点: 良, 60-69点: 可, 60点未満: 不可とします。						

(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	連絡先：0263-37-2405，hitmutai@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時対応しますが，Eメールにて事前にアポイントメントをとってください．
【テキスト，教材，参考書】	適宜，紹介する．